

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-3-3 医療従事者の養成・確保

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 医療政策課長 家本 賢 電話番号 0852-22-6252

事務事業の名称	地域医療再生計画事業	
目的	(1) 対象	医師(医学生、研修医含む)、看護職員、病院、診療所、大学等教育機関 等
	(2) 意図	医師不足が深刻な地域における医師をはじめとした医療従事者の確保やドクターヘリの導入などマンパワー不足を補うための体制を整備
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「現役の医師を呼び込める対策」、「将来の医師を育てる対策」、「島根で働く医師を助ける対策」の実施</li> <li>「電子カルテ連携システム」や「遠隔画像診断システム」の整備に対して支援</li> <li>ドクターヘリの導入に向けて、連航ルール策定やヘリポートなどのインフラ整備、連航委託等</li> </ul>	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			地域医療再生計画対象地域における病院勤務医師の充足率	目標値	75.00	75.00	75.00	
式・定義	実際に勤務している医師数/必要な医師数	実績値	68.30	70.50	69.00	71.10		%
		達成率		94.00	92.00	94.80		%
指標名	第7次看護職員需給見通しに対応した看護職員数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		10,911	11,065	11,142	11,227	%
式・定義	直近の業務従事者届けを届け出た看護職員数/直近の年度の目標値	実績値	0.00	10,611	10,611	10,782		%
		達成率		97.30	95.90	96.80		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	853,346	825,572
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

<p>【医師数】</p> <p>目標値：充足率75%</p> <p>県東部(対象地域) 68.6% 現員数74,0人 必要数107,8人</p> <p>県西部 71.8% 現員数264,1人 必要数367,7人</p> <p>【看護職員数について】</p> <p>目標値：看護職員需給見通しの各年度需要数</p> <p>実績値：看護職員業務従事者届けによる常勤換算数(H26:10,782人)</p>
--

6. 成果があったこと(改善されたこと)

【医師確保対策】  
県外から10人の医師を招聘。地域枠出身や奨学金の貸与を受けた医師が141名となり、106名が県内で勤務

【看護職員の確保対策】3年間(5年間)の県内医療機関を返還免除条件とする看護師(助産師)確保特別資金貸与事業は、貸与実績がH22:27名(9名)、H23:38名(9名)、H24:34名(12名)、H25:24名(11名)、H26:39名(11名)となった。そのうち、H22:26名(8名)、H23:35名(9名)、H24:29名(12名)が県内に就業している(H24以降は未確定)。

【IT活用】  
平成25年1月から医療情報ネットワーク(愛称まめネット)を本格稼働させ、H27年6月末時点で487カ所の医療機関が参加し、運用している。

【ドクターヘリ】  
平成23年6月から連航を開始し、平成26年度においては737回の連航を実施した。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- 病院勤務医師の充足率は横ばいであり、依然として地域の医療体制を支える中核病院において、常勤医不在等による診療体制への影響が生じている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 医師等の医療従事者が不足していること。
- ③原因を解消するための「課題」
- 医師等の医療従事者の育成と県内定着、そのための県内におけるキャリア形成支援体制の整備が必要。
  - 医療機関の役割分担と連携による効率的で質の高い医療提供体制の構築が必要。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

平成22年度から実施している医学生奨学金の拡充などに引き続き取り組むとともに、奨学金などを受けた医師が島根県内に定着していただけるよう、地域医療支援センター等による若手医師のキャリア形成支援を強化していく。

医師不足等の中でも効率的で質の高い医療提供体制を構築するため、医療情報ネットワークやドクターヘリ・防災ヘリによる広域搬送体制を引き続き充実していく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)